

充実期セミナーがありました。

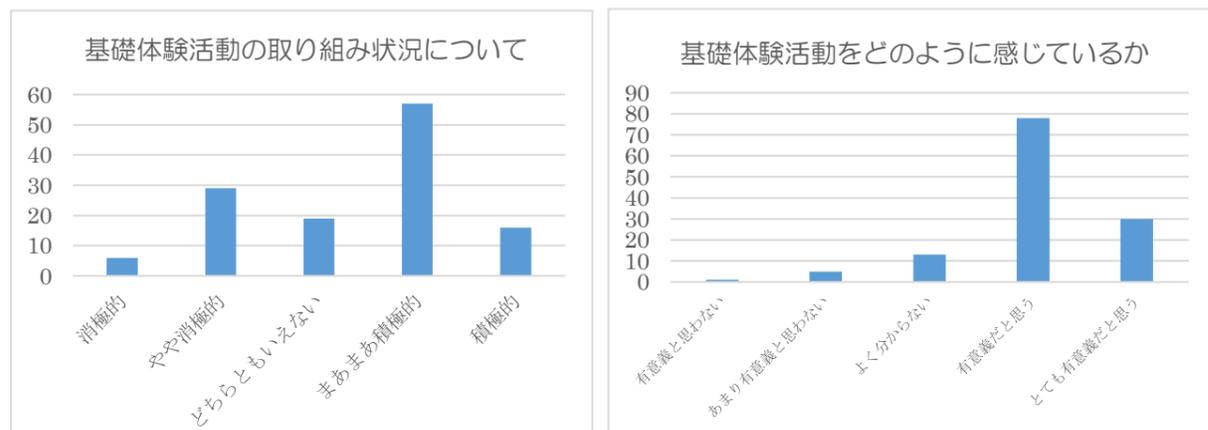
9月27日(木)は2回生を対象にした『充実期セミナー』が行われました。この充実期セミナーは、基礎体験領域でねらう資質・能力の視点から、これまで取り組んできた基礎体験活動のデータを分析し、他者と比較しながら各自の成果と課題を明らかにすることが目的となっています。

充実期セミナーは全体指導を行った後、体験時間別にグルーピングを行って協議が進められました。2回生は540時間の基礎体験活動(選択時間)を4年間で積み上げる必要があります。既に計画的に体験時間を積み重ねている人、まだまだ体験時間数が不足気味な人と、基礎体験活動への取り組み方は人それぞれです。しかしながら、子ども達と多くの関わりを持ってきた学生は、3回生から始まる実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴにおいて、自信をもって取り組めると思います。

2回生にとっての基礎体験領域での学びは、自分自身の今後の進路や生き方を決める上で少なからず影響を及ぼすものとなります。充実した体験活動になるように、主体的に取り組む姿を期待します。

充実期セミナーのアンケートより

充実期セミナーを終えた2回生130名に、今年度前期(4月~9月)までの活動を振り返って、答えをもらいました。



2回生は、基礎体験活動の有意義性については、約86%が有意義な活動と回答しました。しかし、基礎体験活動の取り組み状況は、消極的・やや消極的だったと回答する学生が約27%いました。有意義な活動と分かっているにもかかわらず、なかなか活動に取り組めていない学生たちが多くいることが分かり、このようなセミナーをきっかけとして、さまざまな基礎体験活動に取り組んでくれればと願っています。

2回生の感想より

○自分は通年の活動ばかりで体験した活動数は人より少ないことがわかった。同じグループの人や学生アドバイザーの方の話を聞く中で、まだまだ知らない体験活動がたくさんあることがわかった。まずは募集欄を定期的に見ることから始めて、自分に足りていない力なども考慮しながら多くの活動に参加していきたいと思った。

○自分は活動時間数が多い方で、最近は勉強も忙しくなってきたこともあり、あまり基礎体験活動にモチベーションがない状態でした。しかし、同じくらいの時間数の同回生と話し合う中で様々な刺激を受けて、また基礎体験活動を頑張ろうというモチベーションが高まりました。

○自分が全体のどの位置にいるのかが把握できてよかった。また、他の人の発表を聞いて、今までよりもっと視野を広げてチャレンジをしなければいけないと気付かされた。学生アドバイザーの話もとても刺激になり、活動の種類の絞り方や自分の武器を持つことを学んだ。

○自分は活動登録時間が少なくて、不安があった。今回の参加で自分と同じくらいの時間数の人と実際に話してみることで、自分と同じ境遇にいる人の気持ちが分かった。アドバイザーの方の参加の工夫の仕方も聞くことができ、有意義であった。

○まず、先輩の話を聞いて、自分が4年生になったときの姿を想像させられました。4年間を通して先輩方のような力を身につけたいと思いました。班での活動を通して、ほかの人たちが行った活動を詳しく聞き、やってみたい活動に出会うことが出来ました。身についた能力や感想を聞いていて参加する意欲が湧いてきました。体験時間数が同じくらいの人で集まっていたので、この活動を試みようとか、一緒にしようという風にもなったのでよかったです。

○学生アドバイザーの方の「1000時間体験学修は島根大学教育学部ならではの活動だからこそ、島大に来たからにはやったほうがいい。」という意見を聞いて、改めてもっと基礎体験活動を積極的にやっていこうと思えた。

